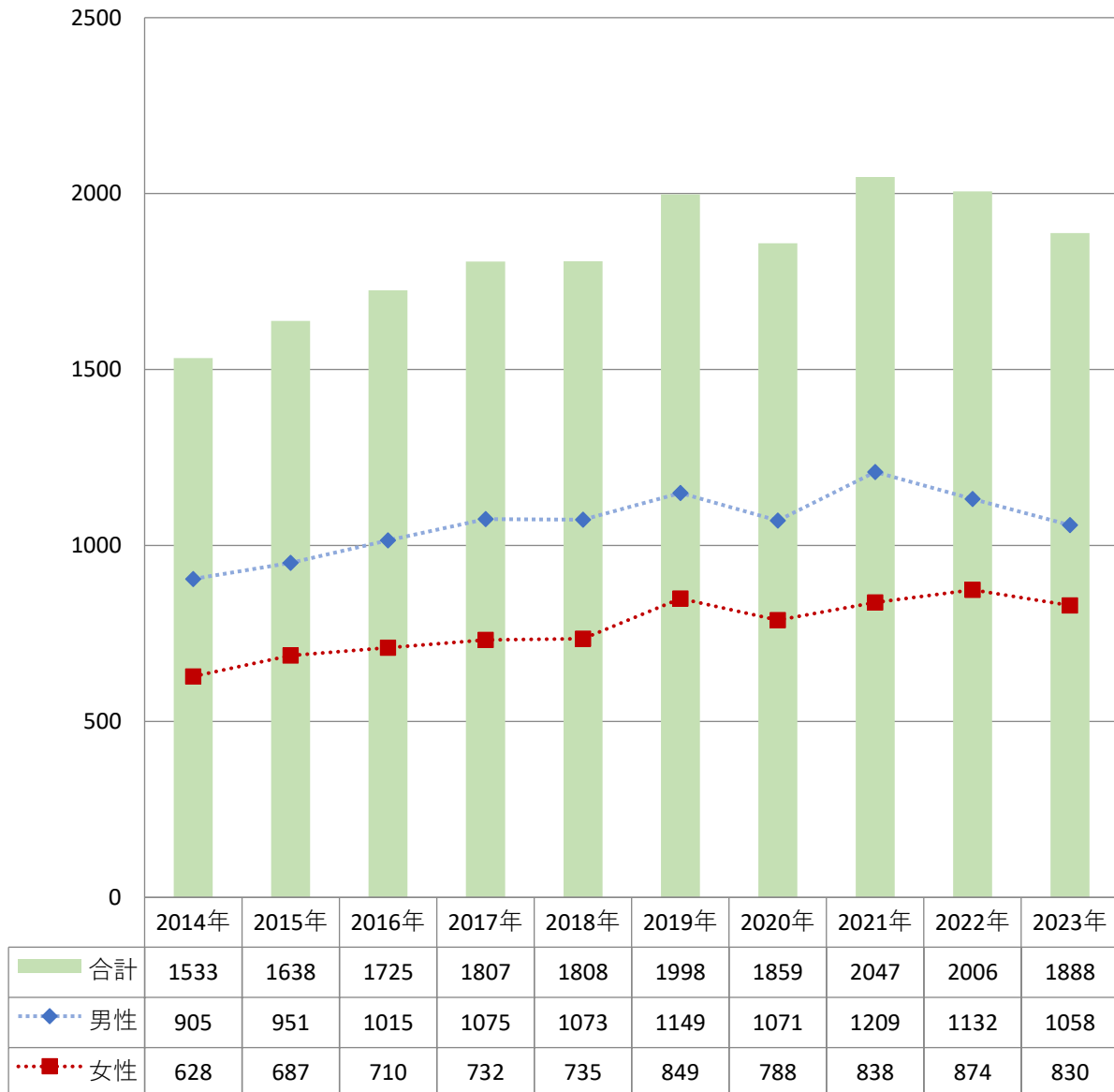


## 年間登録数推移 2014年～2023年

\* 過去10年分

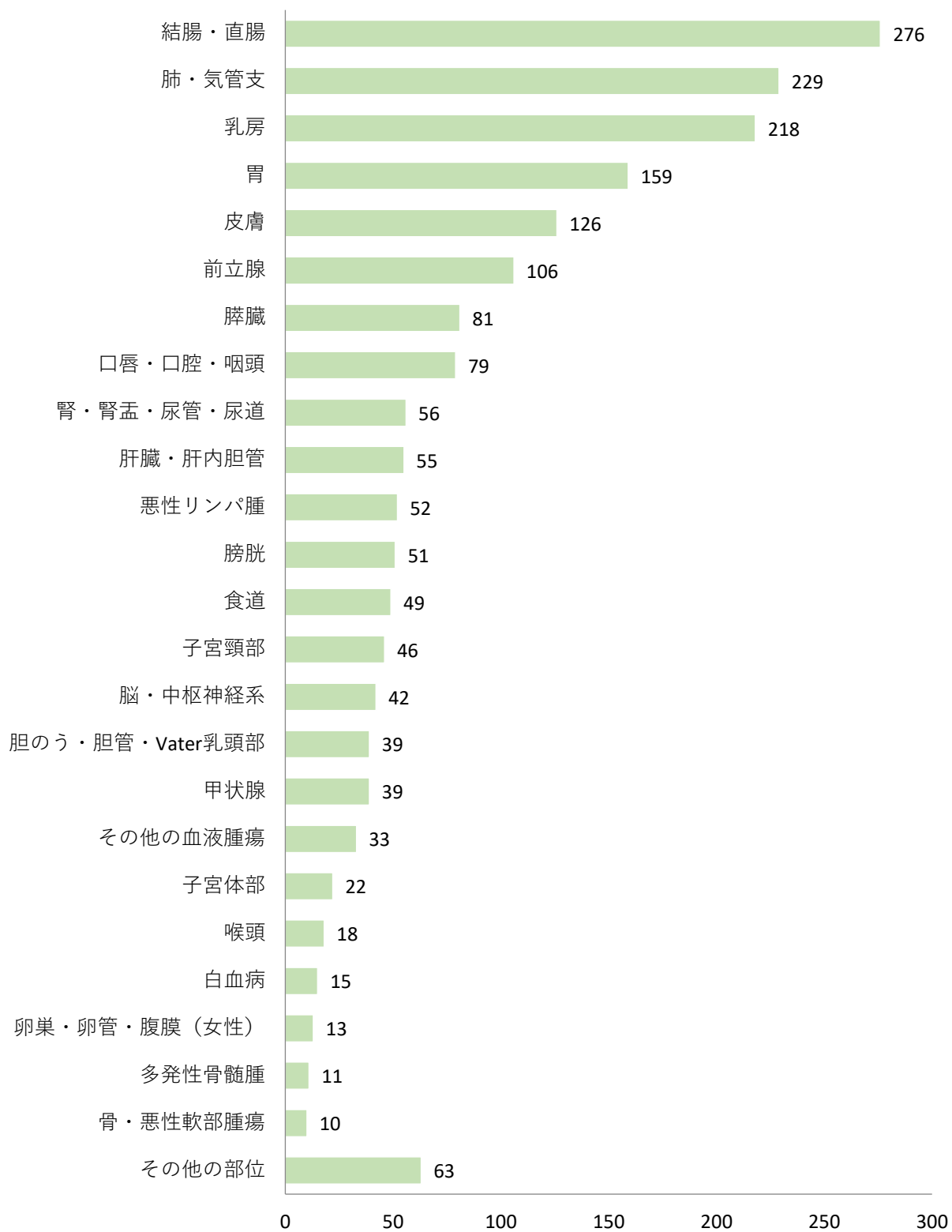
\* 当院にて初回の診断・治療（経過観察含む）された登録件数

（他施設にて既に診断・治療が行われ、その後当院に受診し診断・治療（経過観察含む）が行われた症例も含む）



\* 悪性腫瘍であれば、すべて登録対象です。その他、髄膜・脳・脊髄（中枢神経系）に発生した腫瘍については、良性であっても登録対象です。また、2012年～GIST（消化管間質腫瘍）、2016年～境界悪性の卵巣腫瘍の一部も、登録対象です。

## 部位別登録件数 2023年症例

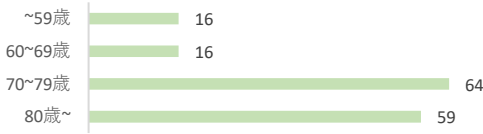


## 部位別 胃 計155件

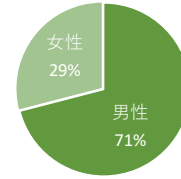
\* 2023年1月～12月診断

\* 癌腫のみ

### 年齢別件数



### 男女比



### 治療前ステージ割合 (UICC TNM分類第8版)



\* 不明は治療前の検査にて良性・悪性の確定診断ができなかったまたは進行度が特定できなかった症例

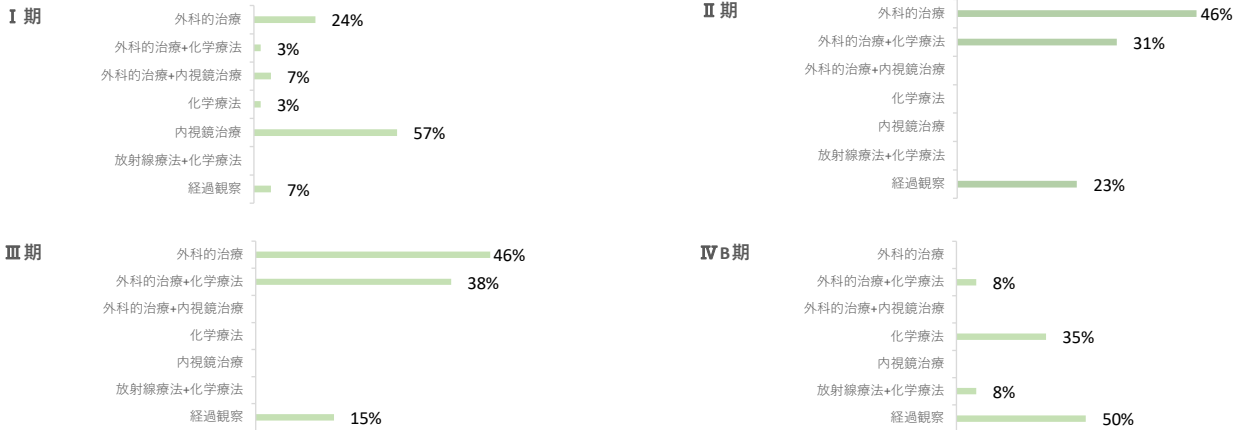
### 術後病理学的ステージ割合 (UICC TNM分類第8版)

術前治療あり, 1%



\* 手術での病理を顕微鏡的に観察した腫瘍やリンパ節であり、治療前ステージと比較してより正確に示している

### 治療前ステージ別治療法割合



\* がんの進行度を示しているのがステージです。IVに近いほど、がんがより進行している状態を意味します（実際の診療に用いられている病期と異なる国際病期分類で集計しています）

\* 治療法は初回治療のみ（最初の診断に引き続き行われた縮小・切除を意図したがん組織に対する治療）を表示しています

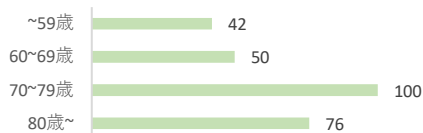
\* 外科的治療は開腹手術又は鏡視下手術、化学療法は免疫チェックポイント阻害剤・分子標的薬を含みます

## 部位別 大腸 計 268 件

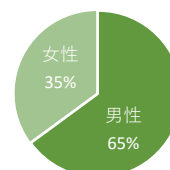
\* 2023年1月～12月診断

\* 癌腫のみ

### 年齢別件数



### 男女比

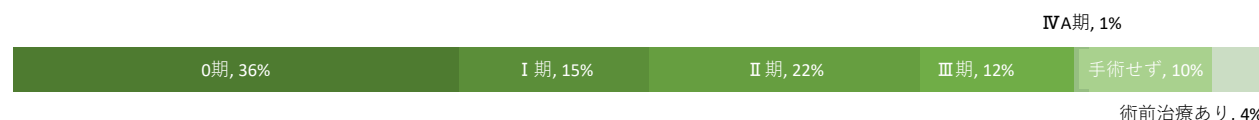


### 治療前ステージ割合 (UICC TNM分類第8版)



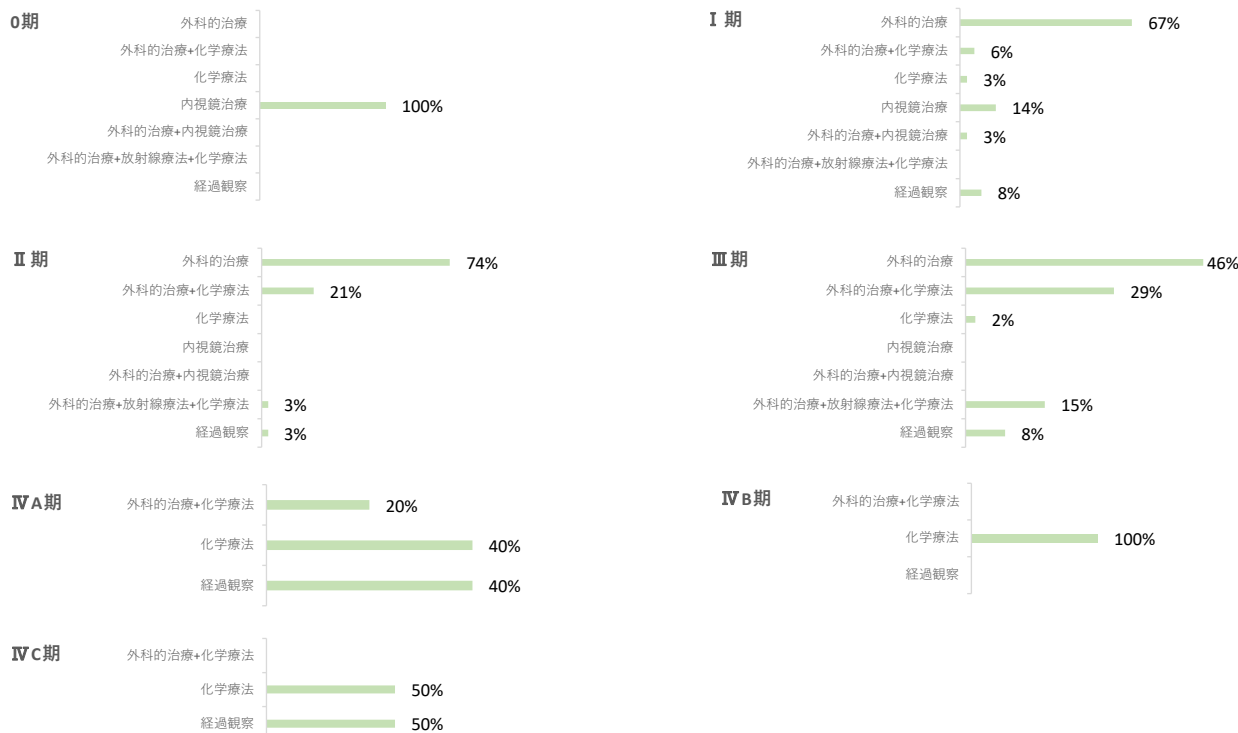
\* 不明は治療前の検査にて良性・悪性の確定診断ができなかったまたは進行度が特定できなかった症例

### 術後病理学的ステージ割合 (UICC TNM分類第8版)



\* 手術での病理を顕微鏡的に観察した腫瘍やリンパ節であり、治療前ステージと比較してより正確に示している

### 治療前ステージ別治療法割合



\* がんの進行度を示しているのがステージです。IVに近いほど、がんがより進行している状態を意味します (実際の診療に用いられている病期と異なる国際病期分類で集計しています)

\* 治療法は初回治療のみ (最初の診断に引き続き行われた縮小・切除を意図したがん組織に対する治療) を表示しています

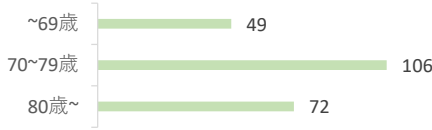
\* 外科的治療は開腹手術又は鏡視下手術、化学療法は免疫チェックポイント阻害剤・分子標的薬を含みます

## 部位別 肺 計 227 件

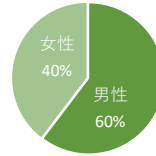
\* 2023年1月～12月診断

\* 癌腫のみ

### 年齢別件数



### 男女比



### 治療前ステージ割合 (UICC TNM分類第8版)

不明, 1%

I 期, 45%

II 期, 4%

III 期, 18%

IV A 期, 15%

IV B 期, 18%

\* 不明は治療前の検査にて良性・悪性の確定診断ができなかったまたは進行度が特定できなかった症例

### 術後病理学的ステージ割合 (UICC TNM分類第8版)

0 期, 1%

IV A 期, 1%

I 期, 18%

II 期, 5%

III 期, 3%

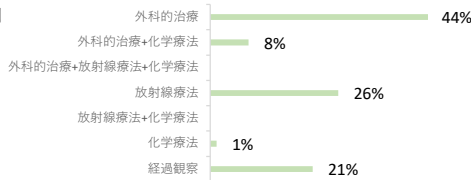
手術せず, 71%

術前治療あり, 2%

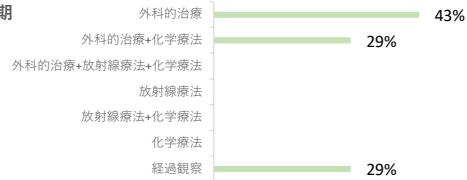
\* 手術での病理を顕微鏡的に観察した腫瘍やリンパ節であり、治療前ステージと比較してより正確に示している

### 治療前ステージ別治療法割合

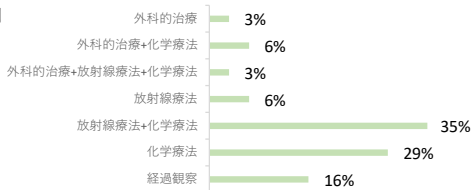
#### I 期



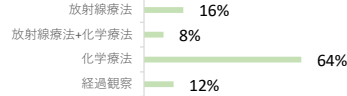
#### II 期



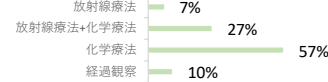
#### III 期



#### IV A 期



#### IV B 期



\*がんの進行度を示しているのがステージです。IVに近いほど、がんがより進行している状態を意味します（実際の診療に用いられている病期と異なる国際病期分類で集計しています）

\*治療法は初回治療のみ（最初の診断に引き続き行われた縮小・切除を意図したがん組織に対する治療）を表示しています

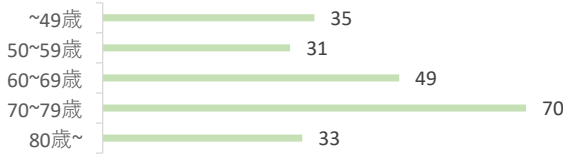
\*外科的治療は開腹手術又は鏡視下手術、化学療法は免疫チェックポイント阻害剤・分子標的薬を含みます

## 部位別 乳房 計 218 件

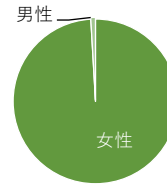
\* 2023年1月～12月診断

\* 癌腫のみ

### 年齢別件数



### 男女比



### 治療前ステージ割合 (UICC TNM分類第8版)

不明, 1%



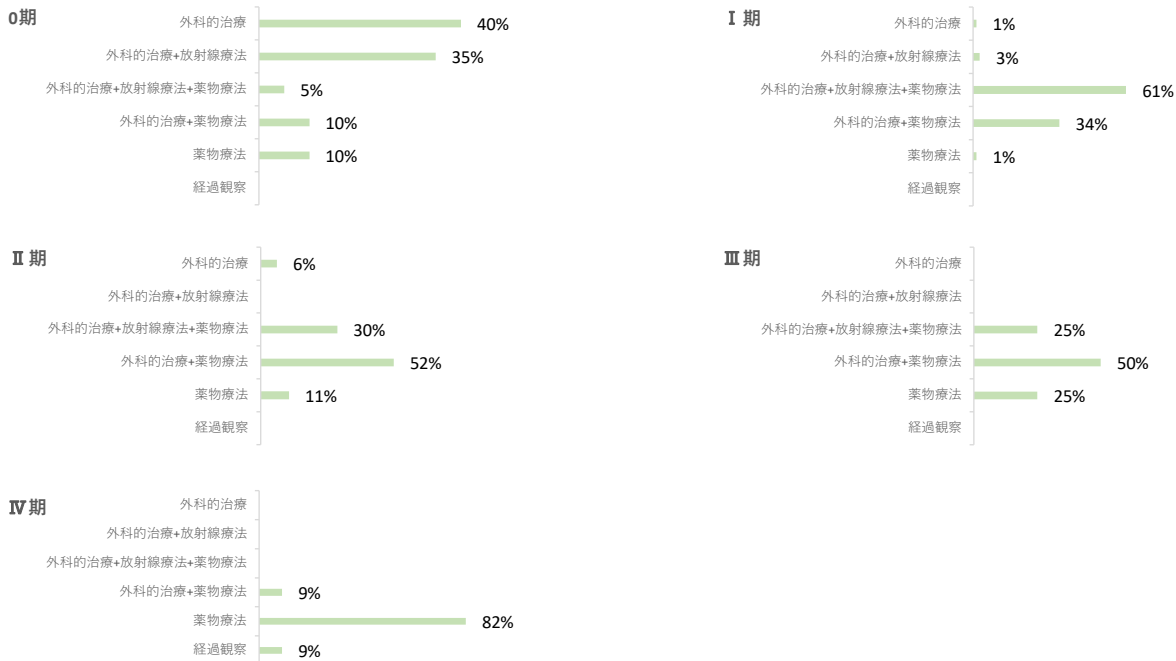
\* 不明は治療前の検査にて良性・悪性の確定診断ができなかったまたは進行度が特定できなかった症例

### 術後病理学的ステージ割合 (UICC TNM分類第8版)



\* 手術での病理を顕微鏡的に観察した腫瘍やリンパ節であり、治療前ステージと比較してより正確に示している

### 治療前ステージ別治療法割合



\* がんの進行度を示しているのがステージです。IVに近いほど、がんがより進行している状態を意味します（実際の診療に用いられている病期と異なる国際病期分類で集計しています）

\* 治療法は初回治療のみ（最初の診断に引き続き行われた縮小・切除を意図したがん組織に対する治療）を表示しています

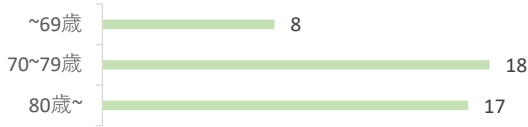
\* 外科的治療は開腹手術又は鏡視下手術、薬物療法は免疫チェックポイント阻害剤・分子標的薬・内分泌療法を含みます

## 部位別 肝臓 計43件

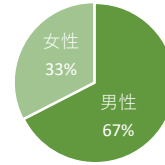
\* 2023年1月～12月診断

\* 癌腫のみ

### 年齢別件数



### 男女比



### 治療前ステージ割合（原発性肝癌取扱い規約 第6版）

IVB期, 3%

I 期, 22%

II 期, 35%

III 期, 30%

IV A 期, 11%

\* 不明は治療前の検査にて良性・悪性の確定診断ができなかったまたは進行度が特定できなかった症例

### 術後病理学的ステージ割合（原発性肝癌取扱い規約 第6版）

術前治療あり, 5%

I 期, 24%

II 期, 24%

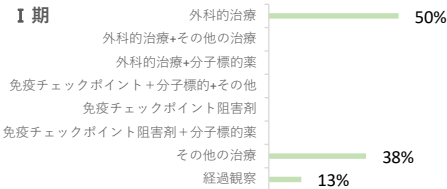
III 期, 5%

手術せず, 43%

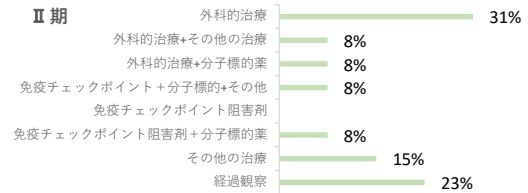
\* 手術での病理を顕微鏡的に観察した腫瘍やリンパ節であり、治療前ステージと比較してより正確に示している

### 治療前ステージ別治療法割合

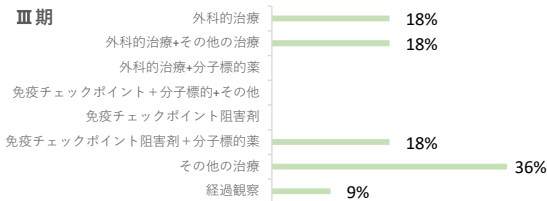
#### I 期



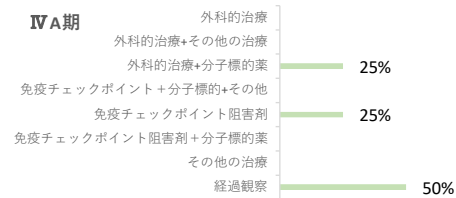
#### II 期



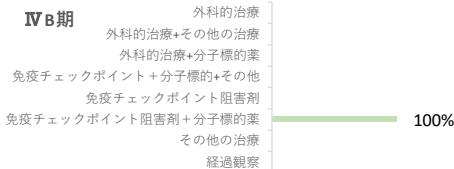
#### III 期



#### IV A 期



#### IV B 期



\* がんの進行度を示しているのがステージです。IVに近いほど、がんがより進行している状態を意味します

\* 治療法は初回治療のみ（最初の診断に引き続き行われた縮小・切除を意図したがん組織に対する治療）を表示します

\* 外科的治療は開腹手術又は鏡視下手術を示します

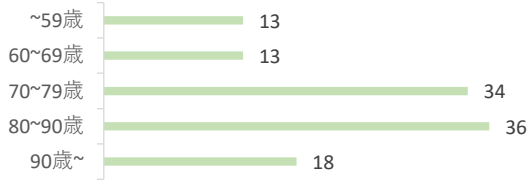
\* その他の治療は肝動脈化学塞栓療法又はラジオ波焼灼療法又は肝動脈塞栓療法を示します

## 部位別 皮膚 計 114 件

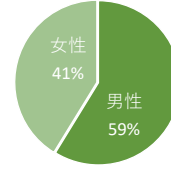
\* 2023年1月～12月診断

\* 癌腫のみ・悪性黒色腫除く

### 年齢別件数



### 男女比



### 治療前ステージ割合 (UICC TNM分類第8版)



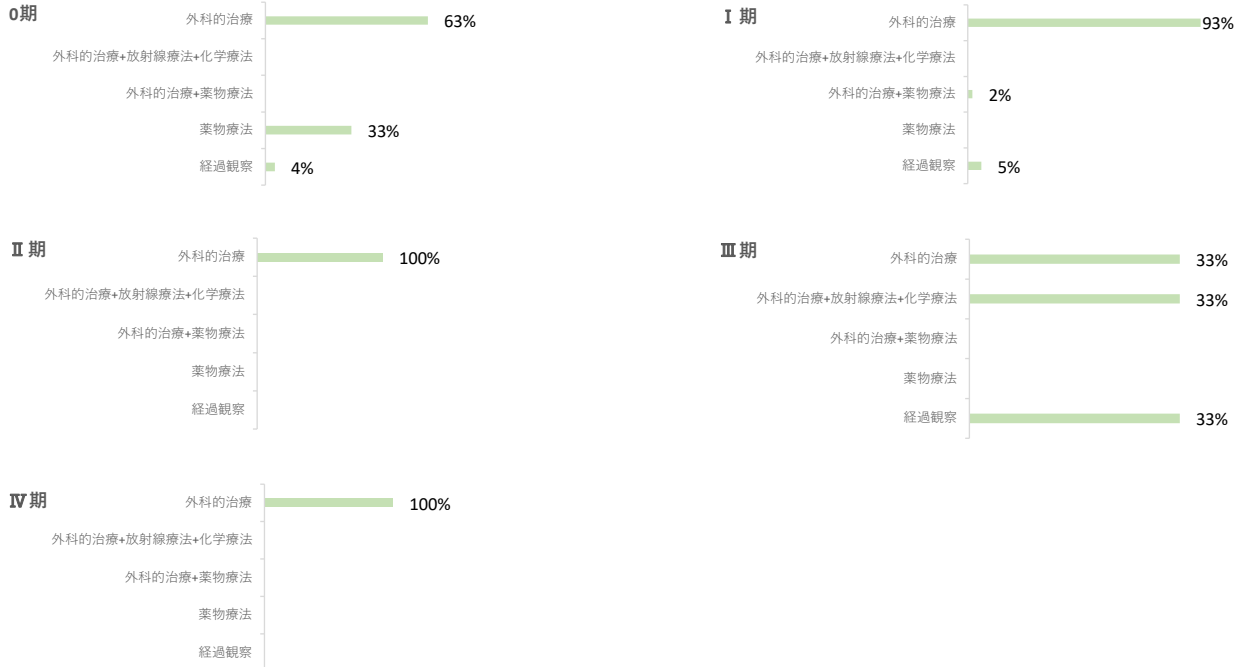
\* 不明は治療前の検査にて良性・悪性の確定診断ができなかったまたは進行度が特定できなかった症例

### 術後病理学的ステージ割合 (UICC TNM分類第8版)



\* 手術での病理を顕微鏡的に観察した腫瘍やリンパ節であり、治療前ステージと比較してより正確に示している

### 治療前ステージ別治療法割合



\* がんの進行度を示しているのがステージです。IVに近いほど、がんがより進行している状態を意味します（実際の診療に用いられている病期と異なる国際病期分類で集計しています）

\* 治療法は初回治療のみ（最初の診断に引き続き行われた縮小・切除を意図したがん組織に対する治療）を表示しています

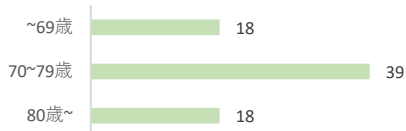


## 部位別 膵臓 計75件

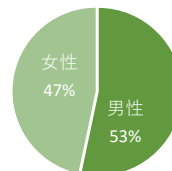
\* 2023年1月～12月

\* 癌腫のみ

### 年齢別件数



### 男女比



### 治療前ステージ割合 (UICC TNM分類第8版)

0期, 2%

不明, 2%

I 期, 32%    II 期, 5%    III 期, 11%    IV 期, 49%

\* 不明は治療前の検査にて良性・悪性の確定診断ができなかったまたは進行度が特定できなかった症例

### 術後病理学的ステージ割合 (UICC TNM分類第8版)

I 期, 7%    III 期, 4%

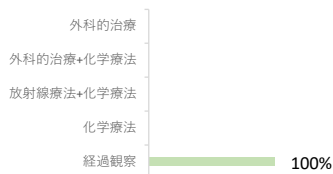
手術せず, 77%

術前治療あり, 12%

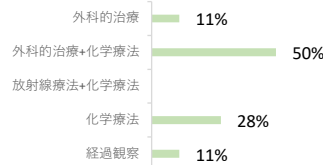
\* 手術での病理を顕微鏡的に観察した腫瘍やリンパ節であり、治療前ステージと比較してより正確に示している

### 治療前ステージ別治療法割合

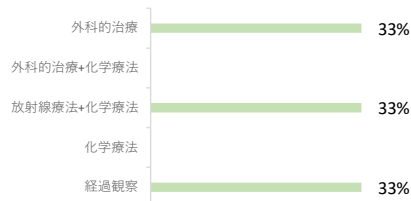
0期



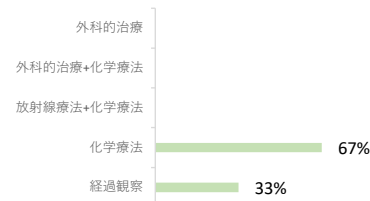
I 期



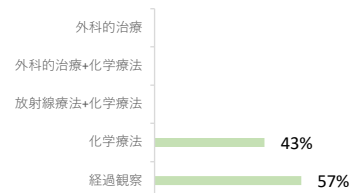
II 期



III 期



IV 期



\* がんの進行度を示しているのがステージです。IVに近いほど、がんがより進行している状態を意味します（実際の診療に用いられている病期と異なる国際病期分類で集計しています）

\* 治療法は初回治療のみ（最初の診断に引き続き行われた縮小・切除を意図したがん組織に対する治療）を表示しています

\* 外科的治療は開腹手術又は鏡視下手術、化学療法は免疫チェックポイント阻害剤・分子標的薬を含みます